

2026 年 9 月 11 日

日本認知症予防学会、博報堂、アイ・ブレインサイエンス、 OptimAlze Consulting、4 者による包括連携協定を締結 — 生活者が認知症予防に前向きに取り組む社会の実現に向けた産学連携を開始 —

一般社団法人日本認知症予防学会（所在地：福岡県北九州市、代表理事：森下竜一、以下「認知症予防学会」）、株式会社博報堂（本社：東京都港区、代表取締役社長：名倉健司、以下「博報堂」）、株式会社アイ・ブレインサイエンス（本社：大阪府吹田市、代表取締役社長：高村健太郎、以下「AiBS」）、および OptimAlze Consulting 株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：関戸隆、以下「オプティマイズ」）の 4 者は、認知症予防に対する正しい理解と予防行動を社会全体に広めることを目的に、脳の認知機能維持・向上の推進に向けた包括連携協定を締結いたしました。

■ 協定の背景と目的

日本における認知症患者数は約 443 万人※を超えるとも言われており、超高齢社会の進展とともに、認知症予防への社会的ニーズは急速に高まっています。しかしながら、認知症予防に資する商品・サービスの科学的な信頼性を生活者が判断することは依然として難しい状況のため、生活者が認知症予防に取り組みやすくなるようにエビデンスに基づいた社会的な仕組みづくりが求められています。

※「厚生労働省：認知症および軽度認知障害（MCI）の高齢者数と有病率の将来推計」の 2022 年の認知症高齢者数を参照

こうした課題を解決するため、本協定では、「認知症になってから対処する」という従来の対症療法から、生活者が自らの脳の認知機能を前向きにケアするという新たな文化の定着を目指します。

学術、先端テクノロジー、そして社会実装の専門知見を持つ 4 者が一体となり、科学的根拠に基づいた信頼性の高い予防行動を取りやすい環境づくりを共同で推進し、生活者による予防行動の実践・普及を目指してまいります。

■ 包括連携協定における各者の役割

本協定においては、4 者はそれぞれの専門性を活かし、認知症予防の社会実装に向けた共同検討を推進してまいります。

- ・ **【学術的知見の提供】** 日本認知症予防学会：
認知症予防に関する専門的な学術知見に基づき、科学的エビデンスの観点から、プロジェクト全体への学術的な監修・助言や、予防に関する客観的な評価の仕組みづくりの検討を行います。
- ・ **【プロジェクト推進・社会実装のサポート】** 博報堂：
マーケティングおよびビジネス構築の知見を活かし、本連携による取り組みを社会に広く浸透させるためのプロセスの設計や、プロジェクト全体の推進をサポートします。

- ・ **【予防技術・テクノロジーの提供】アイ・ブレインサイエンス：**
アイトラッキング（視線計測）をはじめとする独自の認知機能評価技術や認知機能維持・向上技術などの先端テクノロジーに関する知見を提供し、予防サービスの検討を技術面から支援します。
- ・ **【AI 技術・データ基盤の提供】OptimAlze Consulting：**
AI を組み込んだシステムの開発・実装支援、およびデータを安全に活用するためのセキュアなデータ基盤の構築を支援します。

■ 今後の展開:

4 者は本協定を礎に、専門機関の知見と企業の技術、迅速な市場展開を融合させ、社会全体で認知症予防に取り組む新しい未来の実現に貢献してまいります。具体的な取り組み内容やサービスについては、4 者で協議を重ねた上で順次お知らせしてまいります。

- ・ **予防社会の構築に向けた検討：**
認知症予防に向けた理解や行動が進んだ社会の構築に向けて、専門的な知見を持つ学術関係者・専門家をはじめ、様々な企業との産学連携によって、認知症予防に関する有効な知見を社会に広げていくための取り組みについて、検討を進めてまいります。
- ・ **データ活用による社会還元の加速に向けた検討：**
本協定に基づく活動を通じて得られる生活者の脳の認知機能データを、安全に統合・管理するセキュアなデータ基盤のあり方を共同で検討します。これらのデータを安全に活用できる環境を構築し、さらなる産学連携による最先端の研究開発や、認知機能の維持・向上に資する商品・サービスの社会実装に向けて、検討を進めてまいります。

以 上

■ 会社概要

一般社団法人 日本認知症予防学会

所 在 地：福岡県北九州市八幡東区山路松尾町 13-27

代 表 理 事：森下 竜一

事 業 内 容：認知症予防に関連する諸分野の科学的研究の進歩発展をはかり、その成果の社会還元を目的とする

U R L：<https://ninchishou.jp/>

株式会社博報堂

所 在 地：東京都港区赤坂 5-3-1 赤坂 Biz タワー

代表取締役社長：名倉 健司

事 業 内 容：マーケティング・コミュニケーションに関するサービスの提供

U R L：<https://www.hakuhodo.co.jp/>

株式会社アイ・ブレインサイエンス

所 在 地：大阪府吹田市山田丘 2-8 テクノアライアンス C 棟 C801/802

代表取締役社長：高村 健太郎

事 業 内 容：医療機器プログラム(SaMD)開発、医療 AI モデル開発

U R L： <https://www.ai-brainscience.co.jp/>

OptimAlze Consulting 株式会社

所 在 地：東京都千代田区永田町 2 丁目 9-6 十全ビル新館 805

代表取締役：関戸 隆

事 業 内 容：医療データ分析、医療 AI モデル開発、コンサルティング、AI エージェント開発

U R L： <https://optimaize-consulting.com/>

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社博報堂 広報室 西川・和田 koho.mail@hakuhodo.co.jp